



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 JX金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5016 URL <https://www.jx-nmm.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部 (氏名) 米山 学 (TEL) 03-6433-6088
 開示担当課長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	614,500	18.9	124,805	44.8	120,856	45.7	95,556	77.4	79,585	72.9	89,703	31.8
2025年3月期第3四半期	516,921	△54.0	86,170	3.6	82,922	6.1	53,854	1.5	46,029	10.4	68,075	91.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	85.88		85.72	
2025年3月期第3四半期	49.58		49.58	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年3月期第3四半期	百万円 1,379,340	百万円 765,114	百万円 663,757	% 48.1
2025年3月期	1,283,002	711,754	615,297	48.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 91.55	円 銭 18.00	円 銭 109.55
2026年3月期	—	6.00	—		
2026年3月期(予想)				21.00	27.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関する事項については、本日発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料の4ページをご参照ください。

(注2) 当社は、前第3四半期において、2024年11月11日付取締役会の決議に基づき、同年11月29日を効力発生日として、1株当たり配当金91円55銭、配当金総額85,000百万円の配当を実施しています。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	820,000	14.7	150,000	33.4	144,000	34.0	114,000	40.1	93,000	36.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関する事項については、本日発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料の3ページをご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期 3 Q	928,463,102株	2025年3月期	928,463,102株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	2,336,999株	2025年3月期	1,219,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期 3 Q	926,710,759株	2025年3月期 3 Q	928,463,102株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又は資源・素材業界における競争環境の変化
(2) 法律の改正や規制の強化
(3) 訴訟等のリスクなど

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「—」を記載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(適用される財務報告の枠組み)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)においては、世界経済は、米国の関税政策や地政学的リスクの高まりを背景に、先行きの不透明感が一段と強まりました。これに伴い、世界経済の成長率は鈍化基調が継続し、景気の下振れリスクが高まる状況となりました。国内経済は、所得環境の改善を背景とした個人消費が堅調に推移し、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、世界経済の減速や米国関税政策の不透明感が企業収益、輸出、設備投資に影響を及ぼし、成長ペースは鈍化しました。

円の対米ドル相場は、米国関税政策に伴う市場の不透明感等を背景に一時140円台まで円高が進行しました。しかしその後、日米通商交渉の停滞や米国経済の堅調さに加えて、日米金利差の高止まり等が複合的に作用し、円安基調へと転じました。また、9月以降は、日米金利差が縮小に転じたものの、円安傾向は継続し、当第3四半期期末には157円、期平均では前年同期比4円高の149円となりました。

銅の国際価格(LME〔ロンドン金属取引所〕価格)は、期初は1ポンド当たり438セントから始まり、米国による銅への関税賦課懸念に加えて、海外鉱山でのトラブル等による供給不安、さらに米国の利下げ観測等を背景とする投機資金の流入も追い風となり、価格は上昇基調で推移しました。12月30日には当時の史上最高値となる1ポンド当たり568セントを記録し、当第3四半期期末には567セント、期平均では前年同期比35セント高の460セントとなりました。

このような経営環境のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、米国関税政策をはじめとした市場全体の不確実性が依然として高い状況です。一方で、半導体や情報通信材料市場では、AI関連需要が成長の牽引役となり、特に、生成AIの学習や推論に用いられる高性能AIサーバ向けの需要が旺盛に推移しています。その他のエレクトロニクス市場においても、スマートフォンやパソコン・タブレット分野では、Windows 11への移行や老朽化による買換え需要が継続しており、分野ごとに濃淡はあるものの、全体としては安定的な成長を維持しています。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、円高に伴う減収要因はあるものの、半導体用スパッタリングターゲットや圧延銅箔等の主力製品の増販、銅価の上昇等を主因として、前年同期比18.9%増の6,145億円となりました。営業利益は、前年同期比386億円増の1,248億円となりました。金融収益と金融費用の純額39億円を差し引いた結果、税引前四半期利益は、前年同期比379億円増の1,209億円となり、法人所得税費用253億円を差し引いた四半期利益は、前年同期比417億円増の956億円となりました。なお、四半期利益の内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期利益が796億円、非支配持分に帰属する四半期利益が160億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

[半導体材料セグメント]

円高による減益要因はあるものの、AI関連需要の拡大は継続、データ生成量の増加に対応する大容量データ保存、データ通信高速化等のニーズが高まり、先端ロジック半導体やメモリ需要は高い水準で推移いたしました。これにより、半導体用スパッタリングターゲットをはじめとする主要製品の増販を主因に、前年同期比増益となりました。

こうした状況のもと、半導体材料セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比17.5%増の1,302億円となりました。営業利益は前年同期比97億円増の299億円となりました。

[情報通信材料セグメント]

円高及び2024年8月に実施したタツタ電線株式会社の連結子会社化に伴う負のれん発生益の剥落等による減益要因はあるものの、スマートフォンの需要回復を受けた圧延銅箔の増販及びAIサーバ用途における当社高機能銅合金の採用拡大により、前年同期比増益となりました。これに加えて、収益性向上、生産性改善等を目的に推進した収益構造改革も増益に寄与しています。

こうした状況のもと、情報通信材料セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比26.4%増の2,362億円となりました。営業利益は前年同期比29億円増の238億円となりました。

[基礎材料セグメント]

円高及び2024年7月に実施したSCM Minera Lumina Copper Chile株式の一部譲渡による譲渡益の剥落及び持分法投資利益の一部剥落等による減益要因はあるものの、銅価の上昇を主因に前年同期比増益となりました。また、金属・リサイクル事業においては、足許の銅精鉱買鉱条件が著しく悪化していることから、当社グループが運営する製錬所において減産措置を実施する方向で検討を進めています。

こうした状況のもと、基礎材料セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比15.9%増の

2,577億円となりました。営業利益は前年同期比294億円増の802億円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

- ① 資産 当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、営業債権及びその他の債権、棚卸資産、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比963億円増の1兆3,793億円となりました。
- ② 負債 当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、営業債務及びその他の債務、借入金の増加等により、前連結会計年度末比430億円増の6,142億円となりました。
有利子負債残高は、前連結会計年度末比68億円増の3,081億円となり、また、手元資金等を控除したネット有利子負債は同60億円増の2,489億円となりました。
- ③ 資本 当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、配当金の支払いによる減少等があったものの、四半期利益の計上等により、前連結会計年度末比534億円増の7,651億円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比0.2ポイント増加し48.1%、1株当たり親会社の所有者帰属持分は前連結会計年度末比53.13円増の716.70円、ネットD/Eレシオ(ネット・デット・エクイティ・レシオ)は前連結会計年度末比0.02ポイント改善し、0.38倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 連結業績予想の修正

連結業績予想につきましては、AIサーバ関連用途での情報通信材料セグメントの主力製品需要が、前回予想を上回るペースで拡大していること、円の対ドル相場及び銅価格が前回予想の前提より高水準で推移していることを踏まえ、以下のとおり、2025年11月11日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。なお、本連結業績予想は、銅の国際価格(LME価格)；1ポンド当たり470セント、円の対米ドル相場；149円を前提としています。

連結業績予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想(A) (2025年11月11日発表)	百万円 790,000	百万円 125,000	百万円 120,000	百万円 79,000	円 銭 85.22
今回修正予想(B)	820,000	150,000	144,000	93,000	100.35
増減額(B-A)	30,000	25,000	24,000	14,000	15.13
増減率(%)	3.8	20.0	20.0	17.7	17.8
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	714,940	112,484	107,476	68,271	73.53

② 配当予想の修正

当社の配当方針は、連結配当性向20%程度を基本としたうえで、当社の想定対比で銅価が上昇した結果として、ベース事業の利益が上振れた分については、その一部も株主に還元することとしています。

通期連結業績予想の修正に伴い、2025年11月11日に公表した年間配当予想を1株当たり21円から27円(中間配当6円、期末配当21円)に修正いたします。

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	年間配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年11月11日発表)	円 錢 —	円 錢 —	円 錢 —	円 錢 15.00	円 錢 21.00
今回修正予想	—	—	—	21.00	27.00
当期実績 (2026年3月期)	—	6.00	—	—	—
前期実績 (2025年3月期)	—	—	91.55	18.00	109.55

(注) 当社は、前第3四半期において、2024年11月11日付取締役会の決議に基づき、同年11月29日を効力発生日として、1株当たり配当金91円55銭、配当金総額85,000百万円の配当を実施いたしました。

(将来に関する記述について)

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	58,316	59,160
営業債権及びその他の債権	138,259	143,824
棚卸資産	273,187	310,646
その他の金融資産	6,334	7,832
その他の流動資産	18,139	19,324
流動資産合計	494,235	540,786
非流動資産		
有形固定資産	371,782	392,737
のれん	8,198	8,022
無形資産	19,521	18,751
持分法で会計処理されている投資	319,950	337,625
その他の金融資産	41,435	47,871
繰延税金資産	26,730	32,253
その他の非流動資産	1,151	1,295
非流動資産合計	788,767	838,554
資産合計	1,283,002	1,379,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	92,826	101,663
借入金	120,717	129,128
リース負債	3,279	2,996
未払法人所得税	12,434	13,751
その他の金融負債	4,322	25,998
引当金	2,515	2,414
その他の流動負債	41,832	41,715
流動負債合計	277,925	317,665
非流動負債		
借入金	180,542	178,972
リース負債	16,715	14,925
その他の金融負債	14,362	15,819
退職給付に係る負債	27,261	28,804
引当金	28,277	29,374
繰延税金負債	23,210	25,660
その他の非流動負債	2,956	3,007
非流動負債合計	293,323	296,561
負債合計	571,248	614,226
資本		
資本金	75,000	75,000
資本剰余金	48,093	46,122
利益剰余金	432,121	489,561
自己株式	△1,000	△2,219
その他の資本の構成要素	61,083	55,293
親会社の所有者に帰属する持分合計	615,297	663,757
非支配持分	96,457	101,357
資本合計	711,754	765,114
負債及び資本合計	1,283,002	1,379,340

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	516,921	614,500
売上原価	403,619	473,401
売上総利益	113,302	141,099
販売費及び一般管理費	70,756	79,875
持分法による投資利益	40,182	67,609
その他の収益	16,472	2,526
その他の費用	13,030	6,554
営業利益	86,170	124,805
金融収益	1,704	1,742
金融費用	4,952	5,691
税引前四半期利益	82,922	120,856
法人所得税費用	29,068	25,300
四半期利益	53,854	95,556
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	46,029	79,585
非支配持分	7,825	15,971
四半期利益	53,854	95,556
(単位：円)		
1株当たり四半期利益		
基本的 1株当たり四半期利益	49.58	85.88
希薄化後 1株当たり四半期利益	49.58	85.72

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	53,854	95,556
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,720	3,608
確定給付制度の再測定	△24	△41
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△35	560
合計	2,661	4,127
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	14,424	15,219
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,544	△12,608
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△1,320	△12,591
合計	11,560	△9,980
その他の包括利益合計	14,221	△5,853
四半期包括利益	68,075	89,703
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	56,704	71,061
非支配持分	11,371	18,642
四半期包括利益	68,075	89,703

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益 剰余金	その他の包括利益を 通じて公正価値で測 定する金融資産	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ
2024年4月1日残高	75,000	46,750	446,945	2,835	△3,130
四半期利益	—	—	46,029	—	—
その他の包括利益	—	—	—	2,707	△2,883
四半期包括利益合計	—	—	46,029	2,707	△2,883
剰余金の配当	—	—	△85,000	—	—
非支配株主との資本取引等	—	△1,560	—	240	261
利益剰余金への振替	—	—	777	△783	—
非金融資産等への振替	—	—	—	—	3,897
企業結合による変動	—	—	—	—	—
その他の増減	—	2,296	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	736	△84,223	△543	4,158
2024年12月31日残高	75,000	47,486	408,751	4,999	△1,855

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の 為替換算差額 確定給付制度の 再測定	合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	非支配 持分	資本合計
2024年4月1日残高	58,988	—	58,693	627,388	93,414
四半期利益	—	—	—	46,029	7,825
その他の包括利益	10,857	△6	10,675	10,675	3,546
四半期包括利益合計	10,857	△6	10,675	56,704	11,371
剰余金の配当	—	—	—	△85,000	△11,101
非支配株主との資本取引等	62	—	563	△997	△6,423
利益剰余金への振替	—	6	△777	—	—
非金融資産等への振替	—	—	3,897	3,897	—
企業結合による変動	—	—	—	—	6,841
その他の増減	—	—	—	2,296	2,928
所有者との取引額等合計	62	6	3,683	△79,804	△7,755
2024年12月31日残高	69,907	—	73,051	604,288	97,030
					701,318

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する 金融資産	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ
2025年4月1日残高	75,000	48,093	432,121	△1,000	4,751	△700
四半期利益	—	—	79,585	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	3,881	△24,937
四半期包括利益合計	—	—	79,585	—	3,881	△24,937
自己株式の取得	—	—	—	△1,500	—	—
剰余金の配当	—	—	△22,283	—	—	—
株式報酬取引	—	78	—	281	—	—
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	138	—	△46	—
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	2,872
その他の増減	—	△2,049	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,971	△22,145	△1,219	△46	2,872
2025年12月31日残高	75,000	46,122	489,561	△2,219	8,586	△22,765

	その他の資本の構成要素					
	在外営業活動体 の為替換算差額	確定給付制度の 再測定	合計	親会社の所有者 に帰属する持分 合計	非支配 持分	資本合計
2025年4月1日残高	57,032	—	61,083	615,297	96,457	711,754
四半期利益	—	—	—	79,585	15,971	95,556
その他の包括利益	12,440	92	△8,524	△8,524	2,671	△5,853
四半期包括利益合計	12,440	92	△8,524	71,061	18,642	89,703
自己株式の取得	—	—	—	△1,500	—	△1,500
剰余金の配当	—	—	—	△22,283	△14,387	△36,670
株式報酬取引	—	—	—	359	—	359
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	△149	△149
利益剰余金への振替	—	△92	△138	—	—	—
非金融資産等への振替	—	—	2,872	2,872	—	2,872
その他の増減	—	—	—	△2,049	794	△1,255
所有者との取引額等合計	—	△92	2,734	△22,601	△13,742	△36,343
2025年12月31日残高	69,472	—	55,293	663,757	101,357	765,114

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(適用される財務報告の枠組み)

当社グループの要約四半期連結財務諸表(要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書及び注記)は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項(ただし、同基準第5条第5項に定める記載の省略を適用)に準拠して作成しており、国際会計基準第34号「期中財務報告」で求められる開示項目及び注記の一部を省略しています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象です。

当社グループでは、当社において設置された製品・サービス別の事業セグメントが、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは、製品・サービス別の事業セグメントから構成されていますが、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約したうえで、「半導体材料」、「情報通信材料」及び「基礎材料」の3つを報告セグメントとし、他の事業セグメントを「その他」としています。

各報告セグメント区分の主な製品・サービス又は事業内容は、次のとおりです。

半導体材料	半導体用スパッタリングターゲット、化合物半導体・結晶材料、塩化物等の製造・販売
情報通信材料	圧延銅箔、チタン銅、超微粉ニッケル、電磁波シールドフィルム、電線等の製造・販売
基礎材料	リサイクル原料の集荷・販売、電気銅の受託製錬、貴金属等の製造・販売・受託製錬

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体材料	情報通信 材料	基礎材料	報告 セグメント 合計	その他	調整額 (注4)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上高							
外部顧客への売上高(注1)	110,514	183,933	221,039	515,486	1,435	—	516,921
セグメント間の内部売上高又 は振替高(注2)	352	2,940	1,325	4,617	5,244	△9,861	—
計	110,866	186,873	222,364	520,103	6,679	△9,861	516,921
セグメント利益又は損失(△) (注3)	20,209	20,875	50,787	91,871	15	△5,716	86,170
金融収益							1,704
金融費用							4,952
税引前四半期利益							82,922

(注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれています。

2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

4. セグメント利益又は損失の調整額△5,716百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額△5,166百万円が含まれています。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体材料	情報通信 材料	基礎材料	報告 セグメント 合計	その他	調整額 (注4)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上高						—	
外部顧客への売上高(注1)	130,041	232,881	249,769	612,691	1,809	—	614,500
セグメント間の内部売上高又 は振替高(注2)	203	3,272	7,936	11,411	5,532	△16,943	—
計	130,244	236,153	257,705	624,102	7,341	△16,943	614,500
セグメント利益又は損失(△) (注3)	29,897	23,771	80,171	133,839	△395	△8,639	124,805
金融収益						1,742	
金融費用						5,691	
税引前四半期利益							120,856

- (注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれています。
 2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。
 3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。
 4. セグメント利益又は損失の調整額△8,639百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額△7,657百万円が含まれています。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及び償却費	32,874百万円	32,578百万円